

# 宮城県林業普及活動情報

2012.10月号 No.53

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 12

- |                                |              |
|--------------------------------|--------------|
| 「森林づくり相談会を開催」                  | (大河原地方振興事務所) |
| 「間伐講習会を開催」                     | (大河原地方振興事務所) |
| 「森林施行プランナーを育成しています！」           | (仙台地方振興事務所)  |
| 「県産材をふんだんに使った公共建築物は如何に！」       | (仙台地方振興事務所)  |
| 「公共建築物にもっと県産材を！」               | (仙台地方振興事務所)  |
| 「鬼首山の子探検隊への活動支援」               | (北部地方振興事務所)  |
| 「林農連携!!「第8回内川水土里の路ウォーク」への活動支援」 | (北部地方振興事務所)  |
| 「鬼首の秋を学ぶ」                      | (北部地方振興事務所)  |
| 「鹿原小学校での炭焼き体験」                 | (北部地方振興事務所)  |
| 「原木しいたけほだ場調査の実施」               | (北部地方振興事務所)  |
| 「森林経営計画作成のための打合せと現地調査を実施」      | (栗原地域事務所)    |
| 「産業まつりで「栗原材」をPRしました」           | (栗原地域事務所)    |
| 「森林経営計画作成に向けて」                 | (東部地方振興事務所)  |
| 「林業腐朽指導職員東北・北海道ブロックシンポジウムへの参加」 | (東部地方振興事務所)  |
| 「東松島市における松くい虫被害調査」             | (東部地方振興事務所)  |
| 「雄勝小 ハタケシメジ栽培学習体験」             | (東部地方振興事務所)  |
| 「ハタケシメジ野外栽培実証試験」               | (東部地方振興事務所)  |
| 「合板品質向上研修会」                    | (東部地方振興事務所)  |
| 「登米地域材活用新製品PR支援」               | (登米地域事務所)    |
| 「登米市林業PRブースの支援」                | (登米地域事務所)    |
| 「古川工業高校生徒による木製ベンチデザインコンペ」      | (登米地域事務所)    |
| 「きのこ狩りと木工教室」                   | (登米地域事務所)    |
| 「鹿折金山資料館が完成」                   | (気仙沼地方振興事務所) |
| 「塩害の被害森林で植樹祭開催」                | (気仙沼地方振興事務所) |
| 「被災林研の現状を県外へ」                  | (気仙沼地方振興事務所) |
| 「林業教室の終了」                      | (林業技術総合センター) |
| 「里山林の管理基礎講座の開催」                | (林業技術総合センター) |

### 「森林づくり相談会を開催」

大河原地方振興事務所

【10月27日(土), 28(日)】

角田市の仙南中央森林組合において、第27回林業まつりが開催されました。当事務所も会場内において、地元の小学生が作った木工作品、県産きのこに関するポスターを展示するとともに、イタドリを使った楽器作りコーナーや「森林の何でも相談」と題した窓口を設け、森林づくりに関する相談会などを開催しました。

会場には2日間で延べ約600人の組合員や一般県民が訪れました。

森林づくり相談会では、「自宅できのこを栽培してみたいが菌床はどこで購入できるのか。」「環境税を使った造林をしたいと考えているがどうしたらよいか。」等の相談が寄せられ、補助事業に関する説明や作業手法について、林業普及指導員がアドバイスを行いました。



森林づくり相談会の様子

### 「間伐講習会を開催」

大河原地方振興事務所

【10月26日(金)】

管内市町有林の間伐推進を目的として、「造林補助制度」、「間伐売払の種類」、「間伐の設計積算」、「立木評価」の4課題について、市町間伐担当職員を対象に、間伐講習会を開催しました。

造林補助事業の制度改正等に伴い、従来、自力で積算可能であった切捨間伐から、搬出間伐の積算、評価が求められています。

搬出間伐の積算、立木評価について、エクセルシートを用いたフォーマットを作成したことにより、より簡易に参加者の理解を得ることが出来ました。

これらを各市町担当者へ提供することで、各市町担当職員の業務が軽減されるとともに管内民有林面積の1割を占める市町有林の間伐が推進され、市町有林が模範となる私有林への波及効果が期待されます。



講習会の状況

## 「森林施業プランナーを育成しています！」

～【作業網路計画の現地指導】～

仙台地方振興事務所

【10月10日（水）】

森林施業プランナー育成研修の一環として、管内林業事業体職員を対象に作業網路計画について現地指導を実施しました。

現地では、作業路起点の取付箇所を確認するとともに、既設の作業路が台風で被害を受けたため、適切な排水施設の設置方法などを指導しました。

今後は、外部講師による現地研修が実施されるほか、災害に強い作業路の整備に向けた、知識の習得を進めていきます。



【開設のポイントを見極める】

## 「県産材をふんだんに使った公共建築物は如何に！」

～【泉岳少年自然の家構造見学会の開催】～

仙台地方振興事務所

【10月5日（金）】

宮城南部流域森林・林業活性化センター 仙台支部主催による「泉岳少年自然の家構造見学会」が開催され、自治体や業界関係者など約50名が参加しました。

1,000m<sup>3</sup>を超える「優良みやぎ材」を使用した建物に、参加者からは「大型建築物の構造材にも十分県産材が使えることが分かった」などの感想が聞かれました。

完成後も、多くの施設利用者に木の持つ良さを伝えることで、県産材利用のPR効果が期待されています。



【県産材の使われ方に見入る参加者】

## 「公共建築物にもっと県産材を！」

～【木材利用の促進に関する打合せ会を開催】～

仙台地方振興事務所

【10月23日（火）】

平成22年に施行された「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」に基づき、市町村での方針策定を促すため、管内市町村の担当者を対象に打合せ会を開催しました。

市町村によっては、策定に向けた作業を進めているものの、コスト面での疑問や木材利用の意義などについて、理解が得られていないなどの問題点が確認されました。

「目指せ！全市町村策定！」を掲げ、県産材利用に向けた起爆剤として、方針策定に取り組みよう、今後とも積極的に市町村へ働きかけていきます。



【打合せ会の様子】

## 「鬼首山の子探検隊への活動支援」 ～こもれびの森で大自然を満喫～

北部地方振興事務所

【10月13日(土)】

【10月13日(土)】

「鬼首山の子探検隊」第8回目の活動(主催:大崎市鳴子鬼首地区公民館)が「一桧山の巨木と会話してみよう」をテーマに開催され、13名の子供たちが参加しました。

前回の活動で林内に伏込んだ「ハタケシメジ」の菌床から立派なきのこが育ち、うれしい収穫になりました。

「こもれびの森」の散策では、ブナやミズナラなどの巨木をはじめ、山野草やキノコ、動物などを観察しました。散策の途中で、真新しいクマ棚を発見するなど野生動物の棲む豊かな森林を体感できました。

「森林科学館」では、透明のビニール傘を使い、散策しながら集めた葉や花を星に見たてて作った「葉っぱのプラネタリウム」や拾った木の実などの自然素材を使った「クラフト作り」を行い、思い思いの作品を完成させました。



見事な株立ちのハタケシメジにビックリ



出来上がった作品を自慢げに

## 林農連携！！「第8回内川水土里の路 ウォーク」への活動支援 ～森林は水土里のトモダチ～

北部地方振興事務所

【10月20日(土)】

水土里ネット大崎(大崎土地改良区)が主催する「第8回内川水土里ウォーク」が、岩出山内川を会場として行われ、一般県民33名が参加しました。

森林が有する多面的な機能についての説明や植樹、枝打ちの体験作業を行うことで森林の大切さ、森林整備の重要性を理解していただくことができました。



初めての枝打ち体験「えいっ！」

## 「鬼首の秋を学ぶ」

～「森のめぐみ」今年度最後の活動～

北部地方振興事務所

【10月30日(火)】

大崎市鳴子温泉鬼首地区において、鬼首小学校5・6年生13名を対象とした総合的な学習時間「森のめぐみ」の第三回目の活動が行われました。今回のテーマは「屋内調査研究」です。これまで行ってきた植林や下刈りを踏まえて、生長した森林がどのような機能を発揮するか、また、鬼首地域の森林の特徴を説明しました。

講話の後には、校庭内の樹木観察を行い、モミジやミヤマガマズミの実、キササゲの種、カツラの香りなど秋の里山を彩る木々を紹介しました。

児童たちは、これまで行った全3回の活動を総括した発表会が予定されており、集中して話を聞いていました。



カツラの甘い香りを楽しむ児童たち

## 「鹿原小学校での炭焼き体験」

～ドラム缶窯での竹炭製造～

北部地方振興事務所

【10月18日(木)】

森林総合学習の一環として鹿原小学校3・4年生20名を対象とした炭焼き体験を実施しました。

作業前に、宮城県の製炭の歴史や炭の効用など、炭に関する説明を行いました。それから、「燃材のモウソウチクを割る」、「節を抜き、ドラム缶を覆う土を運ぶ作業」、「ドラム缶設置の穴を掘る作業」の3グループに分かれて準備に取りかかりました。

ときどき先生から発破を掛けられながらも、全員の協力によって、炭焼き体験を終えることができました。



とにかく燃やす、扇ぐ、繕う

## 「原木しいたけほだ場調査の実施」

～ほだ場の現状を把握し、解除への糸口をたぐり寄せる～

北部地方振興事務所

【10月2日(火)～3日(水)、12日(金)、15日(月)、19日(金)】

先月に引き続き市町職員、生産者に協力をいただき、今後も生産を希望する方のほだ場を調査しました。

抽出したほだ場から土壌、葉、落葉を収集し、放射能濃度との検量線を作成し、空中線量の値によるほだ場使用可否の判断をしたいと考えています。

これらの調査結果に基づき、出荷制限を解除するほだ場を生産者との打合せにより決定していく計画です。



ほだ場の空中線量を測定中

## 「森林経営計画作成のための打合せと現地調査を実施」

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【10月22日(月)】

現在、栗駒高原森林組合が主体となり、森林経営計画の作成作業を行っている栗原市花山の2地区について、森林組合とともに現地で、樹種、林況等及び作業道の開設状況を確認するとともに、施業に必要な基盤整備の計画について検討を行いました。併せて、森林組合における25年度以降の森林経営計画の作成予定等について打合せを行いました。

今年度の森林経営計画作成は初めての取組ということもあり、所有関係が比較的明確で、施業同意が得やすく条件の良い地区を選定して作成作業を進めています。この計画作成のノウハウをいかして、各地で座談会等を開催し、来年度以降は年間1,200haの計画樹立を目標とします。

栗原地域は人工林率の低い東部里山エリアから、水源涵養機能等に重要な西部の人工林率の高いエリアまで多様な森林が広がっており、それぞれの地域に即した森林経営計画を、県・市・森林組合が協力して作成していくこととしています。



来年度以降の計画について打合せ



今年度計画作成区域の現地確認を実施

## 産業まつりで「栗原材」をPRしました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【10月28日(日)】

宮城県北部流域森林・林業活性化センター栗原支部(事務局:栗駒高原森林組合)の活動の一環として、「2012栗原市産業まつりに」、地元で生産される木材の利用を推進するため、情報発信するPRブースを出展しました。

当日は朝からの生憎の雨模様でしたが、約7千人の来場者がありました。

活性化センターのPRブースにも多くの来場者が訪れ、栗駒高原森林組合や女性林業グループ「めぐみの森くりはら」等で作る親子木工教室(先着50組)、チェーンソーアート、落葉で作るブローチやしおり作成に熱心に取組んでいました。



親子木工教室開催状況

「森林経営計画作成に向けて」  
～ 石巻市における計画作成推進～  
東部地方振興事務所

【10月5日（金）ほか】

管内で計画策定を予定している私有林7団地のうち、旧河北地区の2団地について計画森林の絞り込み、間伐実施箇所の確定と所有者からの事業同意及び森林経営計画認定システムによる認定作業を実施しました。

一連の作業により、認定基準をクリアしたので、石巻地区森林組合では、関係書類を整理し、11月1日付けで認定されるよう、石巻市に対して認定申請手続きを行いました。



森林経営計画認定システムへの入力状況

「林業普及指導員東北・北海道ブロックシンポジウム」への参加

東部地方振興事務所

【10月11日，12日】

北海道で開催された林業普及指導員のブロックシンポジウムにおいて、平成23年度～平成24年度の活動として、震災対応としての応急仮設住宅から災害公営住宅に関する取り組み、市町村・森林組合への支援としての森林経営計画作成への支援について報告しました。

経営計画作成の重点となる作業道整備への関心が高く、報告後も複数の参加者との意見交換を行いました。



取り組み事例の報告状況

「東松島市における松くい虫被害調査」

～ヘリ搬出による被害木駆除に向けて～

東部地方振興事務所

【10月16日～18日】

昨年度から2年に渡り空中散布事業が中止され、松くい虫被害が拡大している東松島市宮戸地区において、ヘリコプターによる被害木の効果的な防除を行うために、東松島市、当事務所、森林組合の3者が協力して被害状況を確認しました。

空中散布の中止の影響で、例年以上の被害木が確認され、改めて、防除事業の継続的な実施の必要性を痛感するとともに、次回調査に向けた準備作業を行っています。



被害木の調査状況

### 「雄勝小 ハタケシメジ栽培学習体験」

東部地方振興事務所

【10月3日（水）】

雄勝小学校の1年生から4年生までの児童19名が、今年もハタケシメジの栽培学習体験に取り組みました。震災前から継続して実施してきた体験学習であり、児童たちは手慣れた手付きで、菌床の埋め込みを行ったあと、みんなで協力しながらリヤカーで、設置場所まで運んでいました。

約1か月後の収穫時には、「採りたてのきのこ」を特養老人施設にプレゼントすることとなっています。



協力して菌床を運ぶ児童

### 「ハタケシメジ野外栽培実証試験」

東部地方振興事務所

【10月24日】

放射性物質の影響を調査する目的で実施しているハタケシメジの野外栽培試験圃場において採取した子実体等をNaIシンチレーション検知器により検査を行いました。

計測の結果、放射性セシウムは15.9Bq/kg検出されましたが、環境省の定めた新規規制値（100Bq/kg）を大幅に下回る結果となりました。今後は土壌等の分析を行い、報告書を作成します。



実証圃におけるハタケシメジ発生状況

### 「合板品質向上研修会」

～合板用原木の品質向上に向けて～

東部地方振興事務所

【10月4日（木）】

宮城県北部流域森林・林業活性化センター石巻支部と連携し、県産合板用原木の品質向上を目的とした研修会を開催しました。室内研修では、森林計画制度の改正点の説明、石巻市から公共建築物等木材利用促進法に基づく取り組み状況の報告をしました。

現地研修では、合板工場及び素材生産事業体による合板用原木不適材の確認を行いました。品質の向上に向け、今後も関係者による研修会を開催してまいります。



合板不適原木の欠点等の確認



### 「登米地域材活用新製品 PR 支援」

東部地方振興事務所登米地域事務所

【10月7日(日)】

本事務所では、登米町森林組合が取り組む登米地域材を活用した家具等の新製品開発を支援しています。

宮城木材文化ホール(仙台市宮城野区苦竹)で開催された「みやぎ材木になるフェア」に出展し、開発したテーブルやベンチ等の新製品のPRを実施しました。



新製品をPR

### 「登米市林業 PR ブースの支援」

東部地方振興事務所登米地域事務所

【10月14日(日)】

登米市産業フェスティバルにおいて、宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部が出展する林業ブースでPR活動を支援しました。

当日は、好天に恵まれ、例年の倍近い人出となったため、各団体とも終了時間前に準備した出展物が品切れとなりました。



登米市産業フェスティバル林業ブース

## 「古川工業高校生徒による木製ベンチ デザインコンペ」

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【10月11日（木）】

県立古川工業高校の1・2年生を対象に木製ベンチデザインコンペが開催され、69点の出展から最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞4点、特別賞1点の8点が選考されました。

最優秀賞作品は、年度末までに作品を完成し「道の駅津山」に贈呈される予定です。デザインを具体的な形とするため、津山木工芸品事業協同組合、津山町森林組合などの関係者が協力し、本物の根株や曲がり木を使ってベンチを製作することになりました。

このような取組みを通じて、地域材利用を推進して参ります。



出来上がりが楽しみ(^0^)!

## 「きのこ狩りと木工教室」開催

東部地方振興事務所 登米地域事務所

10月13日、登米市東和町の米川地区の産業活性化を目指す米川活性化サポート会議が主催した「きのこ狩りと木工教室」イベント(参加者31名)を支援しました。

東和国際交流センターに集合の後、米川生産森林組合きのこ園においてマイタケ狩りを実施しました。再びセンターに戻り、木工教室で本棚を作成後、マイタケ汁を提供しました。

最後に、マイタケの効能や放射性物質が不検出であることを説明しました。テレビ局等の取材もあり、安全・安心な食材として県民に広く周知できました。



大収穫に皆、大満足のきのこ狩りでした！

### 「鹿折金山資料館が完成」

気仙沼地方振興事務所  
【10月13日(土)】

気仙沼市が森林整備加速化・林業再生事業により平成22年度から建設を進めていた鹿折金山資料館が完成し、関係者約60名の参加により落成式が開催されました。

鹿折金山資料館は、のべ床面積119㎡木造平屋建てで、三角錐の屋根に立方体の天窗が付いた個性的な建物となっています。

また、構造材や内装材には、地元の山から伐採し地元製材所で製材した材をふんだんに使用しています。

気仙沼市では、今後、市内観光の拠点として活用することとしています。



鹿折金山資料館全景



関係者によるテープカット

### 「塩害の被害森林で植樹祭開催」

気仙沼地方振興事務所  
【10月14日(日)】

津波で被害を受けた森林の再生を目指して、林業グループ「南三陸町の会」と南三陸森林組合が、南三陸町の津波塩害木の伐採跡地で植樹祭を開催しました。

当日は、約100名が参加し、タブ・アカガシ・ヤブツバキ等13種の苗木1,000本を約300㎡の斜面に植栽しました。

植樹祭には、大阪等の遠方から来た方や家族連れ等様々な方の参加があり、急な斜面にもかかわらず、皆さん楽しみながら一生懸命苗木を植栽していました。



苗木を一生懸命植える植樹祭参加者



### 「被災林研の現状を県外へ」

気仙沼地方振興事務所  
【10月17日(水)】

「南三陸町 山の会」の活動視察に、埼玉県の女性林研グループ「結木の会」が訪れました。

結木の会は、東日本大震災で被害を受けたにも関わらず活発に活動している山の会や、活動のパートナーである南三陸森林組合の現状、南三陸町の復興状況について説明を受けました。

町内最大の製材施設「丸平木材(株)」の工場も見学し、南三陸町産スギ材の特徴である暖かみのある色味に触れてもらいました。

最後には、山林を活用した町おこしなどについて、活発に意見が交わされました。



高橋会長所有森林の紹介

## 「 林 業 教 室 の 終 了 」 林業技術総合センター 普及指導チーム

【10月11日(木)】

森林・林業に携わる事業者職員としての基本的な知識及び技術に関する研修を終了しました。

最後の林業教室では、大崎市鳴子温泉鬼首地内のナラ枯れやウエツキブナハムシによるブナの帯状被害の状況を確認するとともに、高性能林業機械による列状間伐や長伐期施業に取り組む美林を視察し、林業経営に重要な機械化林業と生産性について検証するとともに、事業者から工程管理、生産管理等について説明を受けました。

受講生からは、たいへん勉強になったとの感想がある一方、より専門性を高めてほしい。実技を増やしてほしい。木材市場、住宅建築現場の視察を望むなどの意見もありました。

これで、今年度の林業教室を終了し、受講生に修了証書が授与されました。林業教室で習得した知識・技術をそれぞれの職場で活かされることを期待しています。



約100年生のスギ美林で集合写真

「このような美しい森づくりをお願いします。」

## 「 里 山 林 の 管 理 基 礎 講 座 の 開 催 」 林業技術総合センター 普及指導チーム

【10月7日(日) 21日(日)】

県民の森づくり活動を支援するため、里山林の特徴、整備の仕方や道具の使い方など、4回シリーズとなる基礎講座を開催しました。

第1回：10月7日の講座では、「里山林管理の意義」をテーマに、講義及び実習を行い、近隣の良く整備された身近な里山で、森づくりの着眼点や留意点などについて観察しました。

第2回：10月21日の講座では、「里山林の手入れ」をテーマに、広葉樹の更新方法等について講義を行い、実習では、グループごとに広葉樹林の植生調査と設定した森づくりの目標に応じて整理伐等の作業を行いました。

講義や実習を通じて、里山林管理の意義について理解を深めていただくことができました。特に広葉樹林は、整備目標に応じて施業が異なること。稚樹の生育には、林内の光環境の改善が必要なことなどが実感できたようです。



「昭和万葉の森」  
よく整備された広葉樹林の観察を行いました